

世はアンチエイジングの時代。年齢や経験の積み重ねで磨きあげた“成熟からなる美しさ”で輝く女性たちをご紹介します。

THE BEST OF ME

～最高の今を写真で記録する～

She's Story

退職をきっかけにすっきりとお洋服は断捨離せずにお肉を断捨離しました(笑)。



今月の「大人記念美」にご登場頂いたのは、今夏に開催されたエステワム主催の「美ボディコンテスト2016」春夏大会で準グランプリに輝いた田丸 恵美子さん。今年の3月に長年勤務された会社を退職され、現在は3人姉弟の末っ子の息子さんと2人暮らし。今回の受賞は、時間に余裕ができ、ワムネスに集中的に通われた賜物と仰いますが、その動機についてお話を伺ってみました。

「60歳を迎える少し前位から、だんだん自分の体がうまく動かさなくなりました。バランスが取りにくいと感じるようになって、このままではいけないと強く思っていました。母の介護をしていた時に、その動作を観察していると、咳をするにも腹筋を使うし、何をすることも筋肉が必要だと判っていたんです。それで、今私が最優先しなければならぬことはコレではないかと。なので退職したら、まずは何か体を動かすようなことを集中的にしようと思っていました。そうしたら、退職とほとんど同じタイミングで、国分店にもワムネスがオープンしたんです。良いタイミングでした」

始良市にお住いの恵美子さん。働きながら子育てをし、子育てが落ち着いた後は、実母の介護と、ずっと自分のことまでは手が回らなかったそう。

「仕事をしていたので自宅介護というわけにはいかず、母は、最初は鹿児島市内の病院、その後、自宅近くの特別介護老人ホームに移りました。毎日会社帰りに施設に立ち寄り、食事や歯磨き、体を洗ったり、イギリスからアロマの資格を持つ娘が送ってくれるオイルでマッサージをしてあげたりも。認知が入っておりましたので何も言わないんですが、顔を洗った後に化粧水をつけてあげると、その時だけすごい嬉しそうなお顔をしてお礼を言うんです。その瞬間に女性に戻るんですね。私や子供たちを覚えておらず辛い時もありました。介護の日々は大変だったけれども、最期まで介護することができて良かったと思います」

二人の娘さんは既に嫁がれ、イギリスに住む上の娘さんに二人、熊本に嫁いだ下の娘さんに三人、合計五人のお孫さんもいらっしゃいます。元々エステワムとのご縁は、上の娘さんが、結婚前にエステワム国分店にお勤めになられていたのがきっかけだそう。娘さんからのプレゼントを機に通い始められ、渡英された後もご自宅近くの始良店ではなく国分店にそのままずっと通い続けて、今回のコンテストでは体重はもちろん、エントリー後の4ヶ月で、お腹周りがなんとマイナス16.5cmという驚愕の成果をあげられました。

「コンテストの当日は、各店代表の皆さんの細さや綺麗さ、若さに驚いてしまって、無の境地でした。ここまで来たら、自分が楽しもうと思って。受賞はスタッフの皆が手伝ってくれたお陰です」

断捨離予定だった昔の服が着られるようになったことも嬉しいと話す恵美子さん。撮影日には手編みのテーブルマットと手作りの栗の渋皮煮のお土産まで持参され、編集部スタッフも感激しました。

「今まであまりに忙しくて出来なかったこと、物事をゆっくり見つめたいし、日々を丁寧に暮らしたい。昔ながらの日本の心を大切に、子供や孫たちに大事なことを伝えていきたい。体が動く間は、今までできなかったことをいろいろ楽しみたい」

日本の文化をもっと楽しみたいとの思いから艶やかな和服姿で挑まれた撮影。それを見守りに同行されたご子息・晋一郎さんにも是非一緒にという周囲の声が上がり、今回も素敵な「大人記念美」となりました。



anne(アヌ)はcoletteのお姉さんの存在です

田丸 恵美子 さん(61歳)

Emiko Tamaru
主婦

Hair&Make担当
AgeeWAM 鹿児島店